



阿弥陀如来

沿革

天正十八年羽柴秀吉公が相州へ発向し、北条家落城の後、伊豆の国江間の庄、鳥打村に居住した渡邊半左衛門は、「今は浮世に望無し」と仏道に入道して出家得度し、如法と号した。如法は無二、無三の発心者であって、篤実に教化を施したので、諸人の帰依も多く、そこで慶長年中一字を建立し、慶長八年（1603）四月二日本願寺住職宣如法主の弟子になり、正蓮寺第一世の住職となった。

よろこそ正蓮寺へ

真宗大谷派（浄土真宗）法栄山正蓮寺は、1603年開山より400年間法灯を繋ぎ、宗祖親鸞聖人が感動された念仏のみ教えを、現代の世情に合った形で伝えていく寺院です。

およそ4000坪の境内は、蓮の花・桜・紅葉・バラなどの四季の花々が咲き誇っています。風に乗って飛ぶ蝶やトンボ、時折草や木の実を食べに来る野鳥や鹿の姿も目にする事ができるいのちあふれる境内です。

皆様が仏さまを中心に、いのちを大切に安心して礼拝生活を送る。住職はそのための「ともびと」であるべきと考えています。

正蓮寺の宝はご縁です



正蓮寺二十世 住職

渡邊 元浄

儀式・法要

- ・ 本堂での通夜葬儀
- ・ 年忌法要
- ・ 帰敬式（法名授与式）
- ・ 春秋永代経
- ・ 仏前結婚式
- ・ 成人式
- ・ 初参り式



四季・行事

- 1月
 - ・ 修正会（元日法要）
- 3月
 - ・ 彼岸会
 - ・ 護寺会総会
 - ・ 茶会
- 7月
 - ・ 檀家宅お盆まいり
 - ・ お盆合同法要
- 10月
 - ・ 報恩講のつどい（親鸞聖人ご命日）
 - ・ 稚児行列

活動

- ・ 寺報発行、法話葉書郵送
- ・ 寺院巡り聞法会、旅行会
- ・ 定例法話会
- ・ お寺が好きなになる清掃奉仕

同事

- ・ 貧困母子家庭にお供菓をおすそ分け
- ・ お寺おやつクラブ
- ・ 桜を咲かそう東日本
- ・ お坊さんに悩み相談できるサイト「ハスノハ hasunoha」

ほとけのこども教育



社会福祉法人寿光会 学校法人 法栄学園
 楽生保育園 寿光幼稚園

保育理念 あの子もこの子もほとけの子
 どの子もどの子も大切に

いのちの尊さを伝える仏教行事を通して、こどももおとなも合掌礼拝を大切に作る人間になるために、仏教保育を実践しています。

ほとけのこどもたちは、仏様を拜み、生き物を慈しみながら、「ありがとう」「ごめんね」を交わり、自然に囲まれた境内や園庭で朗らかに過ごしています。

<http://jukoh.ed.jp>



あなたの寺子屋

見つけよう、ほとけ 仏な私。

現代の寺子屋では様々な寺子屋教室が開催されています。Yoga、書道など、全て仏教を中心に置いた講座となっています。



寺 Yoga

仏教の瞑想法瑜伽として伝わっている呼吸法 yoga。お寺の本堂で、キャンドルに囲まれて



正蓮書院

ご本尊の前に特設書院を設えて、毛筆と心で味わう仏教語の教室です。



仏さまもお手伝い お寺で縁結び

写経体験、読経体験、お数珠づくりワークショップを通して 独身者同士の出会いの場を創造しています。

オープンスペース お寺カフェ

世間のあれこれを少し離れ、庭園を眺める心テラスでカフェのようなひとときを。住職があなたのお悩みを傾聴し、お応えします。



真宗大谷派 正蓮寺墓苑

花と光の苑 はなとひかりの苑

はすのさと

数十種類の蓮の花が咲き誇る
まさに極楽浄土を具現化した場所
で
ご遺骨を安置することができます。

代々継承する伝統的なお墓です

一般墓地

- ・ 桜 10 区画
- ・ 椿 92 区画
- ・ 梅 16 区画
- ・ 桃 36 区画

永代供養墓

・ 蓮友の碑

永代にわたってお寺が供養と管理を行う集合墓です



人と地域に 開かれた、 相談できるお寺

仏さまを中心に広がる
「はすとも」の輪



伊豆箱根鉄道、韭山駅から車で5分ほど。緑に囲まれ、季節の花に彩られた正蓮寺は、さまざまな活動を通じて多くの人が喜ぶ、身近な存在のお寺です。

ご住職の渡邊元浄さん

お寺の語源は『長老』
相談できる存在を
目指して

正蓮寺さんを訪ねたのは、8月の初めのこと。蓮の花が美しく咲き誇る境内で、ご住職の渡邊元浄さんがあたたかい笑顔で迎えてくださいました。まずは本堂で本尊の阿彌陀如来様にお焼香し、静かに手を合わせます。すると、仏さまに受け入れられ、守られているような不思議な感覚に包まれ、ふっと心が

落ち着き、安らかな気持ちになるのを感じました。

お寺の起源は戦国時代末期の慶長8（1603）年。武家に仕える身だった渡邊半左衛門が、戦乱の世で困っている人たちの力になろうと出家し、お寺を建立したのが始まりだそうです。その理念は約400年を経た今も変わらず、正蓮寺の二十世ご住職にあたる元浄さんは、お寺をもっと身近な存在にしたいと、「相談できるお寺」をテーマに掲げています。「そもそも寺の

語源は、サンスクリット語で『長老』を表す『テラ』という言葉からきています。長老とは人々が何かにつけて相談を持ちかけ、それに対して答えをくださいます。私はまだ長老ではございませんが、お寺はどなた様のご相談も受け止められる場所なのです。」

檀家さんという伝統的な枠にとられず、お寺を中心とした

選べる3つの会員制度 檀家・信徒・はすとも

いただき、檀家さん・はすともさんが私を支えてくださっています」と元浄さん。そうした皆さんのご要望をもとに、いろいろな仏教講座、ヨガ、書道教室、アナログレコードを楽しむ会、婚活支援など、年間を通じてさまざまな催事が行われています。

檀家さん・はすともさんだけでなく、一般の方も多く参加し、そこからまた「はすとも」の輪が広がっているようです。また境内には、四季折々の花や緑に彩られた、明るく光あふれる庭園風墓苑「はすのさと」

が今春完成したばかり。

ご家庭の事情に合わせていろいろなスタイルのお墓が選べるようになっていきます。なかには、蓮の花びらを封じ込めた美しいガラスにお名前を刻む新しいタイプの墓も。墓地の隣には、ご住職が園長を務める寿光幼稚園・楽生保育園があり、園児たちの歌声が聞こえるにぎやかな環境が、訪れる人に好評です。

興味のある催事に参加されるもよし、お寺や墓苑を見学に行かれるもよし、散歩がてら、どなたでも自由にお寺を訪れ、気づきと安心を得られるのが、正蓮寺さんの魅力と言えます。



2015年12月完成予定



3.



5.



6.

3. 檀家さんから寄進されたステレオレコードプレイヤー。参詣者の多くが足を留め、眺めていきます 4. 蓮の花びらをかたどった、はすとも永代供養墓「蓮友の碑」。石塔の要らない左右の納骨壇「蓮友の庵」は今年中に完成予定 5. 境内の200鉢の蓮をアクリルガラスに閉じ込めた「一籠」には永代供養の方のお名前が刻まれ、集合墓の大きなガラス蓮華とともに並べられます 6. 費用を抑えた通夜葬儀ができる、おごそかな本堂



伊豆の国市正蓮寺

真宗大谷派（浄土真宗）

宗派を問わずご相談ください

〒410-2221 伊豆の国市南江間930 Tel: 055-948-1366
ホームページ: <http://www.shourenji.or.jp>

催事案内

「蓮根レココン」

日時：9月27日（日）13:00~17:00

会場：正蓮寺本堂

会費：1,000円（軽食・資料等）

定員：20名

プロのオーディオメーカーをお呼びして、アナログレコードを楽しむ会。お寺の本堂でかけてみたいレコードの持ち込みも可。住職があなたのお悩みをお聴きします（要予約）

「お寺見学会」

毎月1回程度

日程はホームページのお寺カレンダーをご覧ください。

<http://www.shourenji.or.jp/>

はすのさと 料金表

詳細はホームページでご確認ください

名称	墓所形態	永代使用料	墓石代	年間管理費
はすのさと区画	代々受け継ぐお墓 継承を前提	25~85万円 4種	別途必要	15,000円~25,000円
はすとも いり 蓮友の庵	石塔不要のお墓 継承を前提としない	一区画30万円から	彫刻代 別途5万円	なし
はすとも いり 蓮友の碑	集合墓	一人10万円から	不要	なし
はすとも いり 蓮友の苑	樹木葬	一人20万円から	不要	なし
はすとも いり 蓮華堂	室内個別納骨堂 (30年間)	一人30万円 夫婦・50万円	不要	なし



1.



2.

1. 本堂わきにある気持ちのよいテラス 2. 「花がたくさん!」「子どもたちの声が聞こえてうれしい」など、見学した人から喜びの声が聞かれる庭園風墓苑「はすのさと」。入り口から奥に150区画の墓地が広がる